医薬品安全 'お役立ち情報' (No. 5-2)

『お薬による副作用が出た時、あなたはどうしますか?』

2021 年 2 月 医療安全対策委員会

〔お役立ち情報 No.5-1(O.H.P.NEWS2020 年 8 月号掲載)のあらすじ〕 担当する患者に副作用が出たマナブくん。





竹上先輩から医薬品・医療機器等安全性情報報告制度〔以下、報告制度〕の仕組みや報告 の流れについて教えてもらい、少しずつ必要性について理解を深めてきました。

今回は副作用の報告書を作成する事になりましたが、マナブくんは正しく記載する事ができるでしょうか?

じゃあマナブくん!前回言っていたように、報告書を早速書いてみようか!報告書はPMDAのホームページからダウンロードできるよ。



はいこれが報告書の様式だから書いてみて!!



(いやいや待って待って!?いきなり書けってどういうことよ・・・)

竹上先輩・・・すみませんけど、順を追って書き方を教えてもらえませんか?

冗談だよ♪じゃあ1つずつ一緒に確認して書いてみようね!



III. 報告書の記載方法

本章では報告書(図1)の各記載項目に沿って記載方法とポイントについて解説していきます。 (日本版本) 医素品安全性情報報告書 (図4)の名記載項目に沿って記載方法とポイントについて解説していきます。







報告書は可能な限り記載する必要があ るんだよ。大きく

- ①患者情報
- ②副作用等に関する情報
- ③被疑薬、使用状況に関する情報
- ④その他

とあるけど、今回は①~③を中心にや っていこうか♪

(https://www.pmda.go.jp/safety/reports/hcp/pmd-act/0002.html)

① 患者情報

患	患者イニシャル 性別		副作用等発現年齢		身長	体重	妊娠		
者	K.Y	☑男□女	70 歳 (乳児:	ヶ月 週)	173 cm	64 kg	□無□有	(妊娠	週) □不明
情	原疾患·合併症	既征	主歴	過去の副	作用歴	特記事	項		
報	1. 心房細動	1.也	曼性心不全	☑無・□	有	飲酒	□有() 🗹 無	□不明
				医薬品名	:	喫煙 [コ有() 🗹 無	□不明
	2.	2.		副作用名	:	アレルキ"ー	☑有(ピリン系) 口無	□不明
				□不明		その他	()

マナブくん。患者情報は、主病名や既往歴、過去の副作用、また嗜好品やアレルギーなどを正確に記載することで、薬剤との因果関係は?また関係性がある時は、副作用を出現させた背景は?などデータベースとして活用するために必要なんだ。





竹上せんぱ~い!イニシャルは名前が前ですか?後ろですか? 心房細動って書くのが面倒くさいんですけど、AFって書いてもいいですか?

イニシャルは『姓・名』の順で記載するようになってるからその順番で書いてね。 あと略語だけど、同じ略語でも診療科によっては異なった疾患を表す事もあるから、 略語は好ましくないね!できるだけ略語記載はしないように注意してね。





- ・PMDA が情報収集しやすいように主病名・既往歴またアレルギー情報などできる限り記載しよう!
- イニシャルは『姓・名』の順番に書こう!
- ・略語はできる限り使わないようにしよう!

② 副作用等に関する情報

副作用	副作用等の名称又は症状、 異常所見	副作用等の重篤性 「 重篤」の場合、 <重篤の判定基準> の該当する番号を()に記入	発現期間 (発現日 ~ 転帰日)	副作用等の転帰 後遺症ありの場合、() に症状を記入		
等に	1. 消化管出血		2020年 ○月 1日 ~2020年 ○月 12日	☑回復 □軽快 □未回復 □死亡 □不明 □後遺症あり()		
関する	2. 悪心	□重篤 → ()	2020年 〇月 1日 ~2020年 〇月 9日	☑回復 □軽快 □未回復 □死亡 □不明 □後遺症あり()		
情報	④:障害につながるおそれ ⑤	近 ②:障害 ③:死亡につながるおそ :治療のために入院又は入院期間の延長 ⑦:後世代における先天性の疾病又は』	と死亡の因果関係:	軽薬 <胎児への影響> □影響あり □影響なし □不明		

副作用情報は、今回の薬剤で起こった副作用を記載しよう!

それが重篤なのか?非重篤なのか?重篤なら判定基準についても記載しようね。





副作用が重篤かどうか判断できないです!!今回出た症状は添付文書に書いてある 副作用も記載する必要があるんですか??

いやいや既知の副作用も報告も大切だよ。特に重篤な副作用だったらなおさら報告したほうがいいね。重篤性は判定基準に該当しなければ非重篤でも大丈夫だよ。





- ・既知の副作用であっても発現頻度に影響するので報告しよう!
- ・重篤度の判定基準がわからない場合は医師と相談しよう!

③ 被疑薬、使用状況に関する情報

i 被疑薬に関する情報

被	被疑薬(副作用との関連が		製造販売業者の名称	投与	1 日投与量	投与期間	使用理由
疑	疑 疑われる医薬品の販売名)		(業者への情報提供の有無)	経路	(1回量×回数)	(開始日~終了日)	(疾患名、症状名)
薬	0	ダビガトランカプセル110mg	○×製薬 (☑ 有□無)	経口	110mg×20	○月1日 ~ 8日	心房細動による血栓予防
及			(□有□無)			~	
び			(口有口無)			~	
使	最も関係が疑われる被疑薬に○をつけてください。						

| 併用薬 (副作用発現場に使用していたその他の医薬品の販売名 可能な限り投与期間もご記載ください。)

況 ファモチジンOD錠 $20mg(\bigcirc$ 月7日~), フロセミド錠 $20mg(\triangle$ 月 $10日~), ビソプロロール錠<math>2.5mg(\Box$ 月10日~)

じゃあ今度は被疑薬と使用状況の記載をしようね。ここは今回の副作用に関連する 可能性がある薬剤とその副作用がどういった経緯で出現したかを記載するんだよ。





状

心不全があるので、他にも飲んでいる薬があるんですけど、ダビガトランで出血が 起こってるから被疑薬だけの記載でもいいですよね?

《すぐにパニックになるなぁ・・・》今回の場合はダビガトランの可能性が高いからそれだけでいいけど、疑わしい薬があったらそれもちゃんと書いておこうね!





わかりました。じゃあ他の薬はこの併用薬ってところに書いたらいいですね? やっと終わりが見えてきましたね♪

それでいいよ♪あつ!今回は大丈夫だけど、被疑薬がジェネリックの場合は『屋号』 までちゃんと書いておいてね。





- ・被疑薬は正確に記載しよう!(ジェネリックについては「屋号」まで記載する事)
- ・製造販売業者への情報提供の有無は図を入れよう!

ii 使用状況に関する情報

関	副作用等の発現及び	『処置等の経過(記入欄が不足する場合は裏面の報告者意見の欄等もご利用ください。)
する	2020年〇月1日	心房細動の治療目的でダビガトランカプセルの服用を開始。服用開始時はPT-INRやATPPなどの凝固能は異常なく、出血などの身体異常もなかったため、ダビガトランカプセル開始については問題点なし。
情	2020年〇月7日	採血でヘモグロビン低下があったが、誤差範囲。しかし患者から聞き取りを行った所、便に血が混じっていると申し出があったため、医師へ便へモ検査を依頼。結果は陽性(2+)。
報	2020年〇月8日	内視鏡検査を実施したところ、消化管出血が確認。ダビガトランカプセルを一旦中止し、ファモチジン錠服用開始。
	2020年〇月12日	出血改善したため、ワルファリン錠へ変更となった。 ※被疑薬投与前から副作用等の発現後の全経過において、関連する状態・症状、検査値等の推移、診断根拠、副作用に 対する治療・処置、被疑薬の投与状況等を経時的に記載してください。検査値は下表もご利用ください。
	副作用等の発現に影	響を及ぼすと考えられる上記以外の処置・診断:□有 ☑無
	有りの場合→(□カ	效射線療法 □輪血 □手術 □麻酔 □その他())
	再投与:□有 ☑無	有りの場合→ 再発:□有 □無 ワクチンの場合、ロット番号()
	一般用医薬品の場合:	□薬局等の店頭での対面販売 □インターネットによる通信販売
	購入経路→	□その他(電話等)の通信販売 □配置薬 □不明 □その他()



ここはダビガトランの副作用の発現の流れを書けばいいんですね?

そうだね♪被疑薬の投与前から全経過を記載してね!その時には関連する状態や症状、検査値の推移、副作用に対する治療など経時的に記載しようね!





わかりました。この再投与っていうのはなんですか?

今回だったらダビガトランを再開したかどうかって事だね。再開していたら、副作 用の再現性がないかどうかも評価するためには重要な情報になるから書いてね!





- ・被疑薬投与前から副作用等の発現後までの全経過を記載しよう!
- ・再投与する場合は症状発現の有無(因果関係の評価に必要)も記載しよう!

④その他

裏面には報告者の意見やパニック検査値などの記載項目があります。報告者の意見には、 ③の使用状況に関する情報の続きや被疑薬と副作用等の因果関係に関する意見などを記載 します。また、パニック検査値については被疑薬の投与前後の因果関係を評価する上で必要な検査値を記載(別紙添付可)します。

実際に記載してみてどうだったかな?安心・安全に医療を提供する上で大切な報告 制度だってことはわかってもらえたかな?





細かくて少し手間だなとも思ったんですけど、記載して報告することで、多くの患者さんの副作用が未然に防げるなら継続する必要があるな。って実感できました!

そうだね。新薬は市販後調査で副作用情報収集を行うけど、それ以降の情報は医療 機関に委ねられるからね。積極的に報告して情報をアップデートする意味でも大切 な行動になるね。





でも竹上先輩。既存の副作用は添付文書とかで把握は出来るんですけど、未知の副 作用にアンテナを張って今の業務をこなすのはちょっと自信がないです・・・必要 なのは分かるんですけど・・・

たしかにまた業務が増えるって思うと厳しいね。それじゃあ『RMP』を活用したらどうかな?





『RMP』とは・・・??

・・・・また次の機会に話そうね!

